

令和 4 年度
燃料安定供給対策に関する調査事業
石油製品の卸・小売価格モニタリング調査
(離島地域実態把握調査)

B. 現地調査等
報 告 書

令和 5 年 3 月

株式会社日本能率協会総合研究所

1. 調査の目的

毎月の価格調査の結果を踏まえつつ、輸送方法や島内の競合環境等、個別離島の実情を把握すること、離島ごとの小売マージンの動向、離島のガソリン流通コスト対策事業に対する揮発油販売事業者や島内消費者の評価・意見等を明らかにすることを目的として10島程度の離島において現地調査（ヒアリング調査）を実施した。

2. 調査結果

離島のガソリン流通コスト対策事業に対する「揮発油販売事業者の評価・意見、問題点・課題」や「島内消費者の認知度、評価・要望」は下表の通り。

表1 離島のガソリン流通コスト対策事業に対する評価・意見等

| 島名 | 事業者名 | 対策事業に対する評価・意見、 問題点・課題 | 対策事業の島内消費者の認知度、 評価・要望 |
|-----|------|--|--|
| 離島① | A事業者 | <ul style="list-style-type: none">・本土並みの価格設定をしたいが、以前より仕入価格が高くなっており現状の補助単価では足りない。できれば補助単価を上げてほしい。・年間45万円の経費補助は主に地下タンクや計量機の検査費用に利用している。 | <ul style="list-style-type: none">・離島①のガソリン価格は高く、消費者は対策事業のことをあまり知らないと思う。・なお、補助金と話をするとう灯油にも補助金が出るのかと勘違いする人もいるので、あえて補助金ことは住民に知らせていない。 |
| 離島② | A事業者 | <ul style="list-style-type: none">・対策事業は継続してもらえると有難い。ただし、当社はガソリンの販売量が少ないので直接的なメリットは少ない。・年間45万円の経費補助は利用しており、ホースや流量計等の購入費に充てている。 | <ul style="list-style-type: none">・当社の顧客の約半数は対策事業を知っており、継続を希望している。 |
| | B事業者 | <ul style="list-style-type: none">・消費者にとってはメリットが大きいと思うが、当社はガソリンの販売量が少ないので、煩雑な事務処理に見合うメリットを感じない。・年間45万円の経費補助は利用しているが、地下タンクの検査費や品確法検査費に充てると購入できるものが限られてくる。維持に経費のかかる設備を持っている事業者と設備のない事業者で経費補助額が同じというのは不平等感がある。・3年くらい前、オイルポンプが欲しくてネットで2社の見積を取って申請したら、ネット購入は対応していないと申請が却下された。今の時代に合っていないと言える。 | <ul style="list-style-type: none">・消費者は対策事業のことを知っている。 |
| | C事業者 | <ul style="list-style-type: none">・離島のためにわざわざ対策事業を実施して頂いていることは非常にありがたい。制度が無くな | <ul style="list-style-type: none">・対策事業のことを知っている人は少ないと思う。原付への給油は1回当たり3L程度であり、価 |

| 島名 | 事業者名 | 対策事業に対する評価・意見、 問題点・課題 | 対策事業の島内消費者の認知度、 評価・要望 |
|-----|-------|--|--|
| | | <p>ったら消費者に迷惑をかけるので、事業の継続を希望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間 45 万円の経費補助は申請が煩雑だが、補助はあるに越したことはない。 | 格のことをあまり気にしていないのかもしれない。 |
| | D 事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 補助金は有難いと思っており、今後も事業を継続して欲しい。 年間 45 万円の経費補助は手続きが煩雑そうなので利用したことはない。 | — |
| 離島③ | A 事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 物流コストが高く、どうしても販売価格に転嫁しなければならない状況で、対策事業の補助金は販売価格を下げるのに大いに助かっている。 年間 45 万円までの経費補助は利用したことがない。2 年前にポータブル計量機を更新した際、利用しようかと検討したが、県漁連から補助が出たので利用しなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業については全島民が知っていると思う。概ね好評である。 |
| 離島④ | A 事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 補助の手続きが煩雑であるため、仕入れる段階で補助されたものを購入できるような仕組みにしてほしい。 物品補助は、消火器の更新、ホース・ノズル等の修理に利用しており、非常に助かっている一方で、申請手続きが煩雑である。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、事務所や計量機にポスターを貼っており、ほとんどの消費者が知っている。住民から直接意見を聞いたことはないが、住民としても助かっていると思う。 |
| | B 事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。 自動車は島民の足として必要であり、生活に直結するため、今後とも事業の継続をお願いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、ほとんどの消費者は知っている。また、消費者からは「非常に助かっている」「この制度がなければガソリンは購入できない」という声もある。 |
| 離島⑤ | A 事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業については非常に助かっており、この補助金がないと離島⑤では給油所の運営は難しいため、今後とも継続してほしい。 物品補助は、消火器の入れ替えや各種法定検査等に利用しており、非常に助かっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業の開始からだいぶ年数が経つため、消費者で対策事業を特に意識している人は少ないと思う。 |
| | B 事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業は消費者の経済的負担を軽減する役割を果たしている。 物品補助は各種法定検査の費用等に利用しており、大変助かっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 関係者以外はあまり知らないと思う。 |

| 島名 | 事業者名 | 対策事業に対する評価・意見、 問題点・課題 | 対策事業の島内消費者の認知度、 評価・要望 |
|-----|------|---|--|
| | C事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 離島⑤にとって乗用車は生活の足なので、対策事業はぜひ継続してほしい。バスの運賃がもっと安くて便数が多ければ利用するが、現実にはそうではない。 物品補助は、クーラー等設備関係の購入や各種法定検査の費用等に充てており、助かっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業のことを住民はよく知っていると思う。 |
| | D事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業は非常に助かっており、今後とも継続してほしい。 物品補助は、主に圧力計や計量機等の法定検査の費用に利用している。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業のことを住民は分かっていると思う。 |
| 離島⑥ | A事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 補助金は非常に助かっている。 物品補助は、去年はキャノピーの修理に利用した。その他、設備の法廷検査等に毎年利用している。 | <ul style="list-style-type: none"> 給油所に対策事業のポスターを掲示しており、島民は対策事業のことをよく知っていると思う。 |
| 離島⑦ | A事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 物品補助は、消火器の購入等に利用しており、大変助かっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、一定程度の消費者は知っていると思う。 |
| | B事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。 物品補助も利用しており、今年はタイヤの空気圧計測器の購入に充て、顧客へのサービスに役立っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、一定程度の消費者は知っている。 |
| | C事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業がなければ、販売価格が200円/Lを超えてしまうことになってしまうため、非常に助かっている。最近は仕入価格の値上がりが続いており、もし対策事業がなくなったらと不安になる。 物品補助は、コンプレッサー・洗車機等の購入、ローリーの検査費等に利用しており、助かっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、ステッカーを店頭に張っているため、消費者は多分知っていると思う。中には、「灯油にもこうした事業があれば助かる」という声もある。 |
| 離島⑧ | A事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。 物品補助は、計量機の修繕に利用している。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、ほとんどの消費者は知っている。また、消費者からは「値引きされていても、まだ高い」という声も聞かれる。 事業が始まった当初は、よくそういった声を聞いていたが、最近はそういった声もあまり聞かない。 |
| | B事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業は、ガソリン価格の抑制のために有益な事業で、非常 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、一定程度の消費者は知っている。 |

| 島名 | 事業者名 | 対策事業に対する評価・意見、 問題点・課題 | 対策事業の島内消費者の認知度、 評価・要望 |
|-----|------|--|--|
| | | <p>に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物品補助は、洗車機の修正・部品交換、LEDの照明に利用している。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業の開始から期間が経過し、島民の話題には上がらなくなっている。 また、離島という閉鎖的な環境においては、たとえ高くても給油せざるを得ない。 |
| | C事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。 物品補助は、発電機、地下タンクの圧力検査に利用している。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、ほとんどの消費者は知っている。 ポスターによる周知も行っているため、消費者も知っていると思う。 離島においては、食料品等も本土に比べて割高であり、消費者も高いのしょうがないという意識があるため、あまり文句を言われることもない。 |
| | D事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。 物品補助は、利用していない。 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、ほとんどの消費者は知っていると思うが、本土と比べてそれほど安くなっているというわけではないため、特にこの事業を意識している島民は少ない。 「島では一般家庭のボイラー等で灯油を利用している場合も多いため、灯油も補助対象としてほしい。」という声もある。 |
| | E事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者に補助単価分だけ安く販売できるため、ありがたい。 物品補助は、タイヤ交換機、コンプレッサーに利用しているが、50万円以上の物品の購入にも使えるようにしてほしい。 ローリー検査の際には、メーカー担当者に出張して来てもらうよりも本土まで持って行った方が割安なため、検査のたびに貨物船に乗せて本土まで持って行って検査をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業開始当初は、事業に対する反応を聞くこともあったが、最近は慣れもあり、そういった声を聞くことはあまりない。 給油される観光客からは、「補助されていてもこんなに高いのか」という声もある。 |
| 離島⑨ | A事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業について、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。この事業がなくなった場合、補助単価分だけ値上げをしなければいけない。 ガソリンだけでなく、灯油・軽油についても補助対象としてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業開始から年数が経ち、この事業に対する消費者の認識が薄れていると思う。 |
| | B事業者 | <ul style="list-style-type: none"> 対策事業については、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。この事業の開始以前には、本土から来た消費者 | <ul style="list-style-type: none"> この事業についてご存知の消費者も多く、「灯油も補助対象にならないか」と聞かれることが多い。 |

| 島名 | 事業者名 | 対策事業に対する評価・意見、 問題点・課題 | 対策事業の島内消費者の認知度、 評価・要望 |
|-----|------|--|---|
| | | に「なぜこんなに高いのか」とお叱りを受けることもあった。 ・年間45万円の物品補助についても、車のタンクの検査機やタイヤチェンジャーの部品、除雪機等の購入に利用しており、こちらも大変助かっている。 | |
| | C事業者 | ・対策事業について、「事業が終了してしまうのではないか」という不安の声を聞くこともあるため、今後とも事業を継続してほしい。 ・年間45万円の物品補助についても、計量機の検査やローリーの検定、備品の購入、設備補修等に利用しており、こちらも大変助かっている。 | ・本土から来た消費者から「ポスターには●円引きと書いてあるのに、なぜこんなに高いのか」というお叱りをいただくこともあった。 |
| 離島⑩ | A事業者 | ・対策事業のおかげで、本土との価格差を小さくすることができた一方で、それでもまだ本土との価格差が生じており、この差を小規模事業者の努力でなくすことは難しいため、補助単価を値上げしてもらえるとありがたい。 ・物品補助は、ミニローリーのタンク、重油タンクの配管補修に利用しており、非常に助かっている。利用可能枠を拡大していただけると、なおありがたい。 | ・対策事業について、ポスターを掲示し、趣旨の説明を行っており、ほとんどの消費者は知っている。 |
| | B事業者 | ・本事業に対して、特に意見はない。補助金とはなっているが、給油所に対する補助金ではないと認識している。 ・物品補助は、ポンプ、A重油用のドラム缶に利用しており、非常に助かっている。 ・ミニローリーの購入に使用したが、車両の購入費まで含めると50万円以内に収まらず、購入できない。 | ・石油商業組合にポスターを配布してもらい、各所に配って回ったため、対策事業について、ほとんどの消費者は知っている。 |
| | C事業者 | ・対策事業について、非常に助かっており、今後とも継続してほしい。 ・物品補助は、利用していない。 | ・対策事業について、ほとんどの消費者は知っていると思われるが、特段、文句を言われることもない。 |
| | D事業者 | ・対策事業について、非常に助かっており、今後とも事業を継続してほしい。 ・物品補助は、利用していない。 | ・対策事業について、一定程度の消費者は知っていると思うが、「●円/Lも補助されているのになぜこんなに高いのか、もっと安くしてほしい」と言われることもある。 |

令和4年度
燃料安定供給対策に関する調査事業
石油製品の卸・小売価格モニタリング調査
(離島地域実態把握調査)

B. 現地調査等

報告書

令和5年3月

株式会社 日本能率協会総合研究所
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 電話：03-3578-7500

発注者：経済産業省 資源エネルギー庁
資源・燃料部 石油流通課
